

令和2年4月2日（木曜日）

新型コロナ 大型経済対策が必要 足立議員 参院決算委で質疑

自民党の足立敏之参院議員は1日の決算委員会で、



足立議員（右下）の質問に答える安倍首相

新型コロナウイルスの感染拡大などを踏まえ今後のインフラ整備について質問した。政府が来週取りまとめる緊急経済対策について「インフラ整備を含めた、これまででない大型の経済対策を行うべきだ」と主張。公共事業の不調・不落も例年並みで、再度入札によって工事が実施できているとし、建設産業界に施工余力が十分にあると訴えた。

安倍晋三首相は質問に対する答弁で「公共投資は経済の活性化や防災・減災、インフラ老朽化対策など国

土強靱化に直結するもの。必要かつ十分な公共投資を機動的に推進することが重要だ」との考えを示し、

「緊急経済対策では2019年度補正予算や20年度当初予算の公共投資の早期執行により、景気の下支えに万全を期す」と述べた。

足立氏は「日本のインフラを国際的にも恥ずかしくない水準にしていくなは、長期計画に基づき公共投資をしっかりと行う必要がある」と強調。安倍首相は「日本のインフラは国民の生命と財産を守り、さらには経済のインフラにもなる。老朽化にもしっかり対策を講じながら安心できるものにする」と応じた。